

令和5(2023)年度 特別推進研究 研究計画調書 (新規)

RESEARCH PROPOSAL DOCUMENT

GRANT-IN-AID FOR SPECIALLY PROMOTED RESEARCH (FY2023)

令和XX年XX月XX日

研究代表者氏名 Principal Investigator (PI)	(フリガナ)							
	(漢字等)							
	Name (in Roman Letters)							
所属研究機関 Research Institution								
部局 Academic Unit (School, Faculty, etc.)								
職 Position								
研究課題名 Title of Proposed Research Project								
研究の要約 Research Abstract								
研究経費 Research Expenditure  千円未満の端数は切り捨てる  Round off fractions smaller than 1000 yen Converted to U.S. \$ at 1 Dollar = Yen	年度 Fiscal Year	研究経費 (千円) Research Expenditure [U. S. \$]	使用内訳 (千円) Breakdown [U. S. \$]					
			設備備品費 Equipment Costs	消耗品費 Consumables Expenses	旅費 Travel Expenses	人件費・謝金 Personnel cost/Honoraria	その他 Miscellaneous Expenses	
	令和5年度 2023	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
	令和6年度 2024	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
	令和7年度 2025	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
	令和8年度 2026	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
	令和9年度 2027	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
	令和10年度 2028	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
	令和11年度 2029	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
	総計 Sum Total	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

研究組織（研究代表者及び研究分担者）

Project Members List (Principal Investigator (PI) and Co-Investigator (Co-I))

	氏名（年齢） Name (Age)	所属研究機関 Research Institution 部局 Academic Unit (School, Faculty, etc.) 職 Position	学位 Academic Degree 役割分担 Role in this Project	令和5年度 研究経費 (千円) Research Expenditure for FY2023 [U. S. \$]	エフォート Effort (%)
研究代表者 PI	00000000 (00)			[ ]	
研究分担者 Co-I	00000000 (00)			[ ]	
研究分担者 Co-I	00000000 (00)			[ ]	
				[ ]	
合計 00 名 Total Number of Members: 00				研究経費合計 Total Research Expenditure	[ ]

## PROJECT DESCRIPTION

Give descriptions of the following items within 4 pages. (Refer to relevant papers in the publication list as necessary.)

Abstract

- (1) Background of the Research Project
- (2) Research Objectives and Targeted Goals of Project
- (3) Research Plan and Method
- (4) Importance and Necessity of this Project and its Expected Impact on Broader Research Fields
- (5) Research Achievements of the Applicant(s) Relevant to this Project

### 研究計画調書作成に当たって留意すること

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

#### 留意事項：

1. 作成に当たっては、研究計画調書作成・記入要領を必ず確認すること。
2. このファイルについては、記入は全て英語で行うこと。
3. 使用する文字サイズは、10ポイント以上とすること。
4. 各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。
5. 指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じてても削除しないこと。

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

**CURRICULUM VITAE (CV)**

1. PI / Co-I	Name			
	Date of Birth		Age	
	Research Institution, Academic Unit (School, Faculty, etc.) & Position			
	Academic Degree			

2. Roles in this Project

3. Research Career and Experience

## RECENT RESEARCH ACTIVITIES I (Publications)

Name of PI or Co-I

The list should be within 1 page.

1. Put a plus (+) sign at the head of the publication related to this project.
2. If part of the author list is omitted, write the total number of authors (A) and your entry number in the author list counted from the first author (B). (e.g. “(B)/ (A)”)
3. Mark PI with a double underline, and Co-I(s) with a single underline.
4. Put an asterisk (\*) at the head of each corresponding author.

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

*List the significant academic contributions (research papers, articles, books) and intellectual properties (patents). Achievement not directly related to this proposed project can be included. Begin with the most recent one. Do not include research papers under submission. Textbooks, abstracts for conferences and address summaries should not be included in this list either.*

*Title and Authors etc.*

*(e.g., For research papers, list the title of the paper, authors, name of the journal, refereed or not, volume number, the first and last page numbers, year of publication)*

*Notes:*

1. *It is not necessary for above information to be listed in this order shown above, as long as all information is included.*
2. *You need not list up all co-authors.*

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

**RECENT RESEARCH ACTIVITIES II (Invited Lectures and Talks, Prizes, etc.)**

Name of PI or Co-I	
--------------------	--

The list should be within 1 page. Put a plus (+) sign at the front of the item that is related to this project.
--

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

*List the important lectures/talks (e.g., invited lecture at an international conference) and prizes.*

*Name of Conference, Date and Place, Title of Lecture(s)/Talk(s), Name of Prizes.*

*Begin with the most recent one.*

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

**研究目的、背景など**

本研究計画調書は、人文社会・理工・生物の「系」の区分で審査されます。記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」(公募要領16頁参照)を参考にすること。

本研究の目的と背景などについて、記述すること。

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、

1. 本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」
2. 本研究の目的及び学術的独自性と創造性
3. これまでの研究活動を踏まえ、本研究の着想に至った経緯や、関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ
4. 本研究で何をどこまで明らかにしようとするのか

について、具体的かつ明確に記述すること。

**(概要)**

**(本文)**

**研究計画調書作成に当たって留意すること**

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

**留意事項①:**

1. 特別推進研究は人文社会・理工・生物の「系」の区分により、広い分野の委員構成で多角的視点から審査が行われることに留意の上、研究計画調書を作成すること。

**留意事項②:**

1. 作成に当たっては、研究計画調書作成・記入要領を必ず確認すること。
2. 本文は11ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。
3. 各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。
4. 指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

### 特別推進研究としての意義

本研究種目は、新しい学術を切り拓く真に優れた独自性のある研究を支援するものです。  
以下の点に留意して、具体的かつ明確に記述すること。

- ・期待される研究成果と新しい学術を切り拓く上での本研究の学術上の意義・インパクト



## 研究計画・方法

研究目的を達成するための研究計画・方法について、次の点に留意して、具体的かつ明確に記述すること。

- ・研究の準備状況（本応募研究課題を実行する際に前提となる、データの収集・分析・評価・検討、基礎となる予備実験、実験機器(装置)の設計・製作、手法の開発、研究組織の構築(研究協力者等の参画)などの準備状況と、研究計画との関係がわかるように記述すること。）
- ・研究分担者とともに行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割

## 応募者の研究遂行能力及び研究環境

応募者（研究代表者、研究分担者）の研究計画の実行可能性を示すため、(1)これまでの研究活動とその成果の具体的な内容、(2)研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について記述すること。なお、「(1)これまでの研究活動とその成果の具体的な内容」には、必ず、これまでに受けた研究費とそれによって得られた成果等も含めて記述することとし、必要に応じて今回の研究構想に直接関係しないものを含めてもよい。また、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

### 留意事項：

1. 研究代表者（研究分担者がいる場合は研究分担者も同様）の研究発表論文や著書、講演等の研究業績については、本欄ではなく「RECENT RESEARCH ACTIVITIES I (Publications)」及び「RECENT RESEARCH ACTIVITIES II (Invited Lectures and Talks, Prizes, etc.)」に主要なものを記載すること。
2. 本欄において、これまでの研究活動で得られた成果を示すに当たり、特定の具体的な研究業績（論文、著書、産業財産権、招待講演等）を明示する特段の必要がある場合は、当該業績を同定するに十分な情報を記載すること。  
例として、学術論文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報、など。
3. 論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載すること。

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○







設備備品費の明細							
購入 予定 年月	購入 希望 順位	品名・仕様	数量	単価	金額	定価/ 見積の別	主として使用する 研究者及び設置機関名
計							
令和7年度：必要性							

**設備備品費の明細**

購入 予定 年月	購入 希望 順位	品名・仕様	数量	単価	金額	定価/ 見積の別	主として使用する 研究者及び設置機関名
		<b>計</b>					

令和8年度：必要性

設備備品費の明細							
購入 予定 年月	購入 希望 順位	品名・仕様	数量	単価	金額	定価/ 見積の別	主として使用する 研究者及び設置機関名
		計					
令和9年度：必要性							



**設備備品費の明細**

購入 予定 年月	購入 希望 順位	品名・仕様	数量	単価	金額	定価/ 見積の別	主として使用する 研究者及び設置機関名
<b>計</b>							

令和10年度：必要性

設備備品費の明細							
購入 予定 年月	購入 希望 順位	品名・仕様	数量	単価	金額	定価/ 見積の別	主として使用する 研究者及び設置機関名
		<b>計</b>					
<b>令和11年度：必要性</b>							

消耗品費等の明細

年度	消耗品費		旅費		人件費・謝金		その他	
	事項	金額	事項	金額	事項	金額	事項	金額
令和5年度								
		計						
必要性								

消耗品費等の明細								
年度	消耗品費		旅費		人件費・謝金		その他	
	事項	金額	事項	金額	事項	金額	事項	金額
令和6年度								
		計						
必要性								

消耗品費等の明細								
年度	消耗品費		旅費		人件費・謝金		その他	
	事項	金額	事項	金額	事項	金額	事項	金額
令和7年度								
		計						
必要性								

消耗品費等の明細

年度	消耗品費		旅費		人件費・謝金		その他	
	事項	金額	事項	金額	事項	金額	事項	金額
令和8年度								
	計							
必要性								

消耗品費等の明細								
年度	消耗品費		旅費		人件費・謝金		その他	
	事項	金額	事項	金額	事項	金額	事項	金額
令和9年度								
		計						
必要性								

消耗品費等の明細								
年度	消耗品費		旅費		人件費・謝金		その他	
	事項	金額	事項	金額	事項	金額	事項	金額
令和10年度								
		計						
必要性								



消耗品費等の明細								
年度	消耗品費		旅費		人件費・謝金		その他	
	事項	金額	事項	金額	事項	金額	事項	金額
令和11年度								
		計						
必要性								



(1) 応募中の研究費

研究者氏名					
資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	役割	令和5年度 の研究経費 (期間全体の額)	令和5年度 エフォート (%)	本応募研究課題と当該研究課題の関係等 I：研究内容の相違点 II：当該研究課題に加えて本応募研究課題に応募する理由 (左記の研究課題に応募するに当たっての所属組織・役職) (科研費の研究代表者である場合は研究期間全体の受入額)
			(千円)		
			(千円)		I
			(千円)		II
			(千円)		I
			(千円)		II

(2) 受入予定の研究費

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	役割	令和5年度 の研究経費 (期間全体の額)	令和5年度 エフォート (%)	本応募研究課題と当該研究課題の関係等	
					I : 研究内容の相違点	II : 当該研究課題に加えて本応募研究課題に応募する理由 (左記の研究課題を受入れるに当たっての所属組織・役職)
					I	
					II	
			(千円)		III	
					I	
					II	
			(千円)		III	
(3) その他の活動						
合 計					(%)	

**人権の保護及び法令等の遵守への対応 (公募要領4頁参照)**

本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等 (国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む) に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、1頁以内で記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査 (個人履歴・映像を含む)、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

該当しない場合には、その旨記述すること。

**研究計画最終年度前年度応募を行う場合の記述事項** (該当者は必ず記述すること (公募要領 25 頁参照))

本研究の研究代表者が行っている、令和 5 (2023) 年度が最終年度に当たる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ、本研究を前年度応募する理由 (研究の展開状況、経費の必要性等) を 1 頁以内で記述すること。

該当しない場合は記述欄を削除することなく、空欄のまま提出すること。

研究種目名	課題番号	研究課題名	研究期間
			平成 年 度 ~ 令和 5 年度

当初研究計画及び研究成果

前年度応募する理由

### 海外の研究者に審査意見書を求めることが適当でない場合、その理由

特別推進研究では、原則として海外の研究者による審査意見書の作成を求めることとしていますが、アイデア流出による甚大な影響が及ぼされる可能性がある場合等、研究代表者がこれを求めることが適当ではないと判断する場合（応募情報のWeb入力項目のうち、「海外の研究者に審査意見書を求めることの適否」欄で「適当でない」とした場合）には、その理由を1頁以内で具体的に記入すること。なお、この理由の適否については、科学研究費委員会において検討が行われます。